

セッションK-1 「環境リスク」

1 JGSS-2002によるアレルギー疾患要因のコンテクスチュアル分析

小島 宏 (国立社会保障・人口問題研究所)

なお、2006年大会は7月3(日)～7日(金)に京都国際会議場で開催される第3回環境経済学世界大会と同時に行われることになっている。

(小島 宏記)

## JGSS 研究発表会2005

2005年10月30日(日)に東大阪市の大阪商業大学で「東アジアの社会調査」と題されたJGSS研究発表会2005が開催された。これは大阪商業大学比較地域研究所と東京大学社会科学研究所が文部科学省の助成を受けて1999年から実施している総合的社会調査 Japanese General Social Surveys (JGSS) のデータを分析した成果を発表してもらうとともに、2006年から韓国のKGSS、台湾のTSCS、香港・中国のCGSSのチームと共同で実施する東アジア社会調査 (East Asian Social Surveys/EASS) の準備会議(翌日)のために招聘した研究者による韓国、台湾、中国の社会調査の概要ないし分析結果を発表してもらうことを目的として開催された国際会議であった。内外の研究者によって10本の報告がなされたが、そのうちで下記の4本が人口に関連するものであった。

(優秀論文報告)

「母親の就業が子どもに与える影響—その意識を規定する要因の分析—」

渡辺朝子 (東京都立大学社会学科卒)

「排外意識と教育の効果—外国人受け入れに対する日本人の態度の規定要因—」(論文配布のみ)

額賀美紗子 (カリフォルニア大学ロサンゼルス校社会学部博士課程)

(台湾：台湾地区社会変遷基本調査/TSCS)

"The Explanations of Gendered Division of Household Labor: A Cross-National Study"

CHANG, Chin-fen (Research Fellow, Institute of Sociology, Academia Sinica)

"Changing Attitudes of Co-Residence with Elderly Parents in Taiwan: Idealized Values of Practical Concern"

CHANG, Ying-Hwa, and YI, Chin-Chun (Research Fellows, Institute of Sociology, Academia Sinica)

(小島 宏記)

## 東アジア・東南アジア社会における低出生力と 急速な高齢化に関する国際会議

韓国人口学会(会長：崔焯/Soon CHOI・東亜大学教授)の2005年第2回大会としての位置づけをもつ「東アジア・東南アジア社会における低出生力と急速な高齢化に関する国際会議(International Conference on Low Fertility and Rapid Aging in East and South East Asian Societies)」(実行委員長：朴京淑/Keong-Suk PARK・東亜大学準教授)が同学会と東亜大学東